

保存修復学 実習 ガイドライン

参考資料：歯科医学教授要綱，コアカリキュラム，
教育問題委員会による歯内治療学実習ガイドライン

【ユニット1】 歯の検査（口腔内検査）

学習目標（GIO）：歯の硬組織疾患を的確に診断するために、検査の術式、エックス線写真の読影および診断法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 歯の硬組織の検査の術式と結果について説明する。
- 2) エックス線写真からう蝕の進行度を説明する。
- 3) う蝕および非う蝕性硬組織疾患の病状について説明する。
- 4) う蝕および非う蝕性硬組織疾患の治療方針を立案し説明する。

コアカリキュラム：

- E-1-1)①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。
- E-1-1)④診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。
- E-1-1)⑤診療室への患者の誘導を適切にできる。
- E-1-1)⑥患者に挨拶して自己紹介できる。
- E-1-1)⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。
- E-1-1)⑧的確な病歴聴取（現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等）を行い、必要な部分を抽出できる。
- E-1-1)⑨病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。
- E-1-1)⑩的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。
- E-1-1)⑫基本的診察および検査結果より的確な診断と治療方針を立案し説明できる。
- E-1-2)⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
- E-1-2)⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。
- E-3-3)-(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。

【ユニット2】 う蝕のリスク診断

学習目標（GIO）：う蝕の予防を実践するために、う蝕のリスク診断法を修得する。

行動目標（SB0s）：

- 1) う蝕のリスクファクターを説明する。
- 2) う蝕活動性試験を実施する。（*）
- 3) う蝕活動性試験の結果について説明する。（*）

コアカリキュラム：

B-3-2)①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。

B-3-2)②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。

B-3-2)③ライフステージにおける予防を説明できる。

B-3-2)⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。

E-1-6)-(1)①フッ化物の歯面塗布を実施できる。（*）

E-1-6)-(2)①口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。

E-1-6)-(2)②セルフケアを行えるように適切な動機づけができる。

E-1-6)-(2)③適切な口腔清掃法を指導できる。（*）

E-3-3)-(1)②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。

E-3-3)-(1)④MI (Minimal Intervention) に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。

E-3-3)-(1)⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。

* 関連科目：予防歯科学、衛生学、小児歯科学

【ユニット3】 修復治療における診療姿勢、設備、および器材

学習目標（GIO）：歯の修復治療を効率的に行なうために、必要な設備および器材を理解し、診療姿勢を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) Four-handed Dentistry のための診療姿勢を実施する。
- 2) 窩洞形成や修復処置に必要な器材の準備と後片付けを的確に実施する。
- 3) 器材の保守管理を実施する。

コアカリキュラム：

E-1-1)③歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。

E-1-1)④診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。

【ユニット4】 う蝕（感染歯質）の除去

学習目標（GIO）：修復処置の効果を高めるために、う蝕（感染歯質）の除去法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) う蝕の処置方針（治療および治療計画）を説明する。
- 2) う蝕検知液を使用して感染歯質を除去する。
- 3) 歯髄の近くまで感染が及んだう蝕の処置を説明する。
- 4) MI（ミニマルインターベンション）を説明する。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。

E-3-3)-(1)②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。

E-3-3)-(1)⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。

E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

【ユニット5】 覆髄法、裏層法およびIPC法（暫間的間接覆髄法）

学習目標（G I O）：歯髄を温存するために、覆髄法、裏層法およびIPC法（暫間的間接覆髄法）を修得する。

行動目標（S B O s）

- 1) 間接覆髄法に使用する器具・薬剤を準備する。（*）
- 2) 裏層法に使用する器具・材料を準備する。
- 3) IPC法に使用する器具・材料を準備する。（*）
- 4) 適切に覆髄法を実施する。（*）
- 5) 適切に裏層法を実施する。
- 6) 適切にIPC法を実施する。（*）

コアカリキュラム

E-3-3)-(1)④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。（*）

E-3-3)-(1)⑩仮封の意義、種類および特徴を説明できる。

E-3-3)-(1)⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。（*）

* 関連科目：歯内療法学

【ユニット6】 コンポジットレジン修復

学習目標（GIO）：MI（ミニマルインターベンション）を実践するために、コンポジットレジン修復法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) コンポジットレジン修復の窩洞形成を実施する。
- 2) コンポジットレジン修復の接着操作と修復を適切に実施する。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)④MI(Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。

E-3-3)-(1)⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。

E-3-3)-(1)⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。

E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

E-3-3)-(1)⑰修復後の適切なメンテナンスができる。

【ユニット7】 グラスアイオノマーセメント修復

学習目標（GIO）：セメント系成形修復材料を用いた治療を実践するために、グラスアイオノマーセメント修復法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) グラスアイオノマーセメント修復窩洞を形成する。
- 2) グラスアイオノマーセメントを練和する。
- 3) グラスアイオノマーセメントの充填を適切に行う。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)④MI(Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。

E-3-3)-(1)⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。

E-3-3)-(1)⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。

E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

E-3-3)-(1)⑰修復後の適切なメンテナンスができる。

【ユニット8】 メタルインレー修復

学習目標（GIO）：間接修復の治療法および技工手順を体得するために、メタルインレー修復法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 間接修復法の種類（コンポジットレジン、セラミック、メタル）、特徴を説明する。
- 2) インレー修復の基本窩洞を形成する。
- 3) 印象採得、作業模型作製、咬合器装着を行う。
- 4) インレー体を製作する。
- 5) インレーの試適、咬合調整、および合着操作を実施する。

コアカリキュラム：

- E-3-3)-(1)④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。
- E-3-3)-(1)⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。
- E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。
- E-3-3)-(1)⑰修復後の適切なメンテナンスができる。

【ユニット9】 非う蝕性硬組織疾患の治療

学習目標（GIO）：非う蝕性硬組織疾患に対処するために、代表的なくさび状欠損の治療法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) くさび状欠損の病因，病態，および診断を説明する。
- 2) くさび状欠損の修復法を実施する。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。

E-3-3)-(1)⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。

E-3-3)-(1)⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。

E-3-3)-(1)⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。

【ユニット10】 歯の漂白法

学習目標（GIO）：歯の変色を改善するために、歯の漂白法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 歯の色調とその検査法を説明する。
- 2) 歯の漂白法を実施する。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。

【ユニット11】 ラミネートベニア修復法

学習目標（GIO）：最小限の歯質削除による前歯部の審美性改善のために、直接レジンラミネートベニア修復法を修得する。

行動目標（SBOs）：

- 1) 歯の色調とその検査法を説明する。
- 2) ラミネートベニア修復のための窩洞形成を実施する。
- 3) コンポジットレジン積層法を用いたラミネートベニア直接修復を実施する。

コアカリキュラム：

E-3-3)-(1)④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

E-3-3)-(1)⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。